平成29年1月13日
あやべ市民新聞（4面）に掲載されました

新春対談

山崎善也市長×日東精工・材木正己社長

上場企業と「半農半X」が共存する綾部の魅力とは

街づくり モノづくり 基本は人と人とのつながり

驚きの地方創生「京都・あやべスタイル」

新書売上1位に（紀伊國屋書店梅田本店で）

材木社長（以下・材木）『驚きの地方創生「京都・あやべスタイル」』が綾部市内だけでなく、紀伊國屋書店梅田本店で新書売上1位を獲得するなど、全国的に評判です。この本づくりには山崎市長にも相当ご協力いただいたとお聞きしております。

山崎市長（以下・山崎） ええ、綾部のことをPRできる絶好のチャンスととらえて「こういう情報もある」「こんな新しい試み・ユニークな施策もある」とたくさん追記させていただきました。人口わずか3万5000人足らずの街ですが、綾部には日東精工、グンゼという一部上場企業が2つあり、どちらの企業も人づくり、地域貢献に力を入れておられます。また工業面だけでなく、豊かな自然があってUターン、Iターン者にも大変人気で「半農半X」という新しい生き方を提唱している塩見直紀さんもいらっしゃる。綾部初（発）のたくさんのユニークな取り組みがこの1冊に凝縮されていて、綾部のことを市外の方に説明するにはちょうどいい。ですから、出張の折にはお土産として持参しています。

でもこの書籍、そもそもは日東精工さんがきっかけでした。著者の蒲田正樹さんをご紹介いただいたのも材木社長でしたね。

材木 わが社では毎月、自社の事業や製品、イベントなどを紹介するニュースレターを発行しています。紙に印刷したもの以外にも、メールマガジンにして約4万人の方にお送りしています。たくさんの方に情報を発信しているので、せっかくなら、自社だけでなく、綾部のことも紹介しようということで、「ねじのある街・あやべの魅力」というコーナーを設けています。蒲田さんにはこの編集を手伝っていただいているのですが「やあ、綾部っておもしろいですね、1冊の本になりますよ」と言われ、そうはいっても難しいのではと思っていたのですが、あれよあれよという間に扶桑社に企画を持ち込んで話が具体化されていきました。でも出版社が企画のOKを出したのは、山崎市長が日本開発銀行（日本政策投資銀行）や世界銀行などで国際部長として世界的に活躍されていた経歴が大きかったそうです。

そして「FMいかる」で藻谷浩介さんと綾部の魅力について対談された、その内容が充実していたからだそうです。山崎市長の人脈、これまで民間で培われたネットワークが、綾部に新しい活力を生み出しているのでしょう。

山崎 藻谷さんは、『里山資本主義』や『デフレの正体』などのベストセラーで知られています。たまたま彼とは日本開発銀行時代の同僚で旧知の間柄でしたから、何度か綾部にも来ていただいて、市制施行60周年、65周年のときには記念講演もお願いしました。その延長でラジオにも出演、それが今もインターネットで公開されているようです。

藻谷さんにこの書籍の帯に推薦文をお願いしたところ、もともとこちらが用意したものは少し控えめのものだったのですが「綾部は世界のどこに出しても胸を張れる、全国でも数少ない街。ここに日本と世界の先端があります」と、少し恥ずかしくなるくらいのコメントをいただきました。

材木社長

お客様満足度120%をめざす

暮らす人が元気になる街に

山崎市長

材木 この藻谷さんの推薦文もそうですが、本全体にいいことがいっぱい書いてあって「綾部にいる人間にとっては面映ゆい、なんだかくすぐったい。綾部人ならここまで書けない」という人もいるようです。しかし当社の『人生の「ねじ」を巻く77の教え』のひとつ6番には「照れを捨てて取り組んでみる」があります。ビジネスの場で伸びる人、伸びない人の違いは、良いことをするのに照れを捨てて取り組めるかどうかにかかっていると思います。

「良いことをするのに照れはいらない」

山崎 そうですね。いたずらに自慢する必要はないですが、良いことは自信をもってすすめていく、声をあげるということは、それだけ自分たちへのプレッシャーになり責任が生じることになりますが、とても大切なことですね。

たとえば綾部市が全国に先駆けて取り組んだ「水源の里条例」があります。これは65歳以上の高齢者の方が50%以上で、いずれ消滅してしまうことが懸念される集落、いわゆる「限界集落」と呼ばれるのですが、この「限界集落」をネガティブにとらえるのではなく「水源の里」と言い換えて活性化していこうというものです。「上流は下流を思い下流は上流に感謝する」というキャッチフレーズで取り組んできましたが、この考えに賛同する自治体が増え、今では170の自治体が「全国水源の里連絡協議会」に参加するまでになりました。おかげさまで昨年10月26日には綾部で10周年の大きなシンポジウムを開催することができました。

材木 そういえばNHKで古屋のおばあさんたちが紹介されていましたね。わずか3世帯4人しかいない小さな集落、平均年齢89歳のおばあちゃんたちが、栃の実をつかったお餅やおかきなどをつくっておられ、とてもいきいきとされていました。「60、70洟たれ小僧」といって100歳まで活躍した彫刻家・平櫛田中がいましたが、まさにそんな感じで、私なんかまだまだひよっこだと……

山崎 この集落は、人は増えているわけではないけれど、「水源の里」の取り組みで多くの方がボランティアで訪れるようになりました。年間のべ3000人以上です。小さな子どもたちも含まれていて、若い人と触れ合うことが住民にもいい刺激になっています。テレビにまで紹介され、てんやわんやの忙しさのようですが、「今がいちばん幸せだ」と言っていただいているのが何より、嬉しいことですね。高齢化、過疎化のためには「若い人を増やしましょう」という短絡的なことではなく、まずそこに暮らす人が元気になる、自分たちの住むところが良いところだと胸を張れるかどうか、むしろそちらのほうが大事です。

材木 私どもは常々「お客様満足度120%」を意識し実行するようにしています。「自分たちは日本一、世界一のモノをつくっているんだよと、その自覚をしっかり持て」と。そして、その技術や製品にあぐらをかくのではなく、お客様が求めていらっしゃる以上のモノを提供していかなければならんと言っています。モノづくりも、そして街づくりも結局、人と人とのつながりが基本。人が喜ぶ、幸せになるということが出発点ですね。

綾部の街づくりやモノづくりなどについて意見を交わし、握手をする山崎市長（右）と材木社長＝写真はいずれも日東精工提供

クラスター構想で連携

日東精工はJAXAにも協力

材木 モノづくりと街づくりの共通点といえば……、『京都・あやべスタイル』のなかでも紹介されていましたが「都市計画の線引きをなくす」、これも綾部市の新しい取り組みですね。既成の概念にこだわらない、国の考えとは違っても、変えることをおそれないという点はビジネスにも通じるものです。

山崎 基本的に国の考える「都市計画」は、乱開発を防いで開発エリアを集中させ大きな拠点をつくろうとするものです。でも、綾部は1町12村が合併して生まれた市で、それぞれの旧村の帰属意識が高く、故郷愛にもつながっています。綾部では各地の旧村の自治会が今もしっかり機能しています。学校運営や公民館活動、消防団なども旧町村ごとになっています。だからどこかひとつだけを大きく拠点にするというのはそぐわないのです。ブドウは小さな実が集まって房になっています。一つひとつの実は小さいけれど味がある。そしてひと粒でも甘くておいしくて、そのひと粒が次のもうひと粒へとつながっていく、クラスター（房）構想と呼んでいるのですが、綾部はそんな街づくりを目指しています。国の「都市計画」の線引きが縛りになって、建てたいものが建てられない、つくるべきものがつくれないということになるのであれば、本末転倒です。ですからこの線引きを廃止する方向に舵を切ったわけです。もちろん、国とケンカしてとか、国の意向に背いてというわけではありません。趣旨を説明して最終的にはご理解いただいてきましたが、最初は乱開発を助長すると勘違いされて「時代に逆行している」とお叱りを受けたりもしました。

材木 しかし、市長は、民間時代に国際部長としてタフネゴシエーションを何度も経験されてこられたのですから、きちんとした落としどころをわかっておられて、良い結果を勝ちとられたわけですね。

そして今おっしゃったクラスター構想、じつは当社にも当てはまるところは多いです。日東精工には3つの事業部があります。まず、ねじを製造・販売するファスナー事業部です。しかし、いくら付加価値の高い最先端のねじを使ってもそれをしっかり締める機械がないと本領は発揮できません。ねじ締め機やねじを供給する機械をつくる産機事業部があります。またしっかり締まっているか、不良品がないかなどを調べる計測検査機器をつくる制御システム事業部もあります。これら一つひとつは独立した事業部ですが、シームレスに連携しながら「締結」という分野でしっかりまとまっていて、当社の強みになっています。また産機事業はねじ締め機だけでなく、メーカーさんの組立や生産ラインの設計も大きな柱になっています。制御システム事業では「ジオカルテ」という地盤調査機をつくっていて、小型地盤調査機では世界ナンバーワンのシェアを誇ります。じつはJAXAの研究開発にご協力しているので、いずれ当社の「ジオカルテ」が月面探査に使われるようになるかもしれません。いろいろなユニークな集合体が日東精工を形づくっています。ちょうど志賀郷や上林、八田などのエリアの集合体が綾部を形づくっているようにですね。

山崎 綾部の人は、日東精工というとねじの会社というイメージをもっていますが、じつはとても懐が深い会社なんですね。

綾部には世界と日本の先端が

100年以上前から地域貢献の風土

山崎 地方創生がますます大事な時代になってくると思っています。東京一極、あるいは都市中心ということだけでは立ち行かなくなってしまう時代がやってくる。その一方で、地方間競争も生まれてきます。日東精工やグンゼという上場企業の本社が綾部にあるということは、とてもありがたいですね。

材木 グローバルな企業がなぜ本社を小さな街、綾部におくのかとよく聞かれます。昨年末にもこのテーマで野村総研で1時間お話をしてきました。つきつめれば人を大事にする、地域を大事にするということでしょうか。『京都・あやべスタイル』にも紹介されていますが、グンゼ創業者・波多野鶴吉さんが「表から見れば工場、裏から見れば女学校」といわれるほどに人財教育に力を注がれた。また会社設立の際には大資本でなく、貧しい養蚕農家、家のひと口株主を募り、共存共栄を大事にされ今でいうCSR（地域貢献）を100年以上前から実践していた……、こういう風土が綾部にはあるわけです。

山崎 藻谷浩介氏がおっしゃる「綾部には世界と日本の先端があります」は、まさにこういうところにあるのでしょう。もちろん、綾部に本社をおきながら日東精工さんが中国、台湾、ASEAN諸国、そしてアメリカにとグローバルに事業展開されているように、綾部の街も綾部市民もどんどん世界に目を向けていくべきでしょう。綾部市では英語検定3級の検定料を補助したり、英語キャンプを開いたり、中学生英語サミットを開催するなど英語教育、国際理解教育にも力を注いでいます。中学生の海外派遣制度では市民の方々の協力をいただいて2016年には15名がオーストラリアで研修を受けました。若いときは一度は外へ出て行ってどんどん見聞を広める、視野を広げればいい。そして綾部に戻って力になってもらえればいい。毎年3学期に市内の全中学校へ行って3年生を対象に「ふるさと講座」を行っていて、「ふるさとは決して裏切らない」とメッセージを送っています。そのためにも綾部の街が元気でなくてはいけない、日東精工さんにもその受け皿になっていただきたいと期待しています。

材木 一度、綾部から離れ国際的に活躍して故郷に戻ってくる。そして、綾部の街と新しい人をつなげていく。山崎市長がまさにそのロールモデルですね。話が冒頭に戻りますが、ご縁というか、人と人とのつながりが大きな力になっていくわけですね。

山崎 そうですね。「京都・あやべスタイル」のあとがきで、蒲田さんが「綾部は『つなぐ』というテーマがふさわしい街」と書いておられました。日東精工さんにもご協力をいただいて、守るべきもの、大切なものをつないでいければと願っています。

材木 今日は、どうもありがとうございました。

日東精工株式会社［綾部市］ 代表取締役社長 材木 正己

日東公進株式会社［綾部市］ 代表取締役社長 諏訪 吉昭
東洋圧造株式会社［群馬県］ 代表取締役社長 河野 修治
日東工具販売株式会社［大阪府］ 代表取締役社長 井上 文雄
株式会社ニッセイ［綾部市］ 代表取締役社長 鍋師 利悟
株式会社ファイン［綾部市］ 代表取締役社長 松山 弘和
株式会社協栄製作所［奈良県］ 代表取締役社長 川名 輝夫
和光株式会社［群馬県］ 代表取締役社長 仲 俊幸
東陽精工株式会社［綾部市］ 代表取締役社長 樋口 正人
松浦屋株式会社［東京都］ 代表取締役社長 小島 伸治
九州日東精工株式会社［福岡県］ 代表取締役社長 福嶋 治

旭和螺絲工業股份有限公司［台湾］ 董事長 蘇 室安
日東精密螺絲工業(浙江)有限公司［中国］ 董事長 松井 秀賢
PT. NITTO ALAM INDONESIA［インドネシア］ 代表取締役社長 久馬 武彦
PT. INDONESIA NITTO SEIKO TRADING［インドネシア］ 代表取締役社長 久馬 武彦
NITTO SEIKO (THAILAND) CO., LTD.［タイ］ 代表取締役社長 Praphad Phodhivorakhun
THAI NITTO SEIKO MACHINERY CO., LTD.［タイ］ 代表取締役社長 小谷 正彦
MALAYSIAN PRECISION MANUFACTURING SDN. BHD.［マレーシア］ マネージング ダイレクター 宮野 邦彦
NITTO SEIKO CO., LTD. アメリカミシガン支店［アメリカ］
NITTO SEIKO CO., LTD. アメリカテネシー支店［アメリカ］

香港和光精工有限公司［中国］
VIETNAM WACOH CO., LTD.［ベトナム］
松浦屋香港有限公司［香港］
九州日東精工香港有限公司［中国］
台灣九州日東精工有限公司［台湾］
九州日東貿易(大連)有限公司［中国］
KYUSHU NITTO SEIKO (THAILAND) CO., LTD.［タイ］
Q-NT HONG KONG (CAMBODIA) CO., LTD.［カンボジア］

Fastening Solution. モノづくりの新しい未来へ
NITTO SEIKO

私たちのモノづくりの情熱は、ここ綾部の地から世界へ広がっています

ねじ、ねじ締め機、地盤調査機など、日東精工グループの技術と製品が日本国内はもちろん世界各地のモノづくりを支えています。

受験生応援ゆるみ止めねじ「ギザタイト」プレゼント 実施中です♪

ねじっとくん®

日東精工株式会社
工業用ファスナー（ねじ）・自動組立機・計測検査装置
http://www.nittoseiko.co.jp
本社 〒623-0054 綾部市井倉町梅ヶ畑20番地 TEL 0773-42-3111

ファスナー事業部 本社工場 〒623-0054 綾部市井倉町梅ヶ畑20番地 TEL 0773-42-8020
ファスナー事業部 八田工場 〒623-0116 綾部市下八田町菩提10番地 TEL 0773-42-3125
産機事業部 城山工場 〒623-0003 綾部市城山町2番地 TEL 0773-43-1550
制御システム事業部 〒623-0041 綾部市延町野上畑30番地 TEL 0773-42-3151

国内拠点
東京支店・大阪支店
名古屋支店・北関東営業所・九州出張所

©あやべ市民新聞社 無断転載・複製を禁ずる